



三島町立三島中学校

桐の里だより

【教育目標】

心豊かな生徒、自ら学ぶ生徒、たくましい生徒

令和5年1月号 校長 鶴水 達也



子どもたちの抱負

あけましておめでとうございます。子どもたちが笑顔で、令和5年も順調にスタートしました。年末年始の2学期終業式と3学期始業式では、各学年の代表生徒が、素晴らしい反省と抱負を発表しました。今後も目標を達成できるよう指導して参りますので、ご協力をお願いいたします。

【2学期終業式(12月23日)】

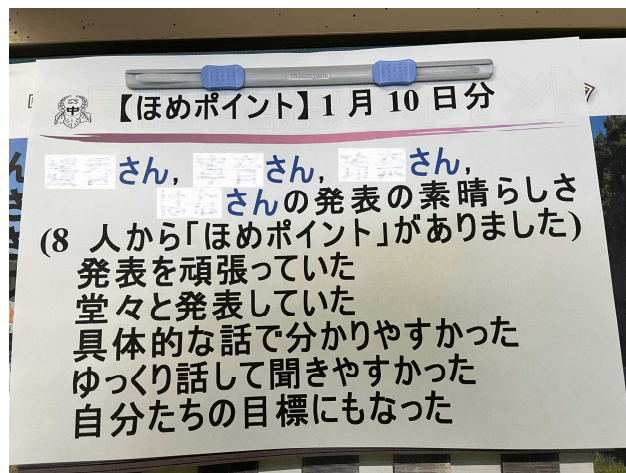
- 1年生 計画を大切に、時間の使い方を工夫したいです。
- 2年生 見通しをもって計画をたてることの重要性を学びました。
- 3年生 反省をもとに計画をたてることの大切さと、改善し続けることの重要性を学びました。

【3学期始業式(1月10日)】

- 1年生 自分の意見をみんなに的確に伝え、周りから頼られるようになりたい。
- 2年生 生徒会役員としての自覚をもつことと、部活動での先輩としての自覚をもちたい。
- 3年生 生活リズムを整え勉強時間を増やし、高校に向け最高学年としての自覚をもちたい。



【始業式で抱負を発表する3年生】



【発表への「ほめポイント」(生徒からの感想)】

笑顔ではじまり、笑顔で終わる全校体育



本校では定期的に全校生で体育の授業を行っています。サッカーやソフトボール、剣道、ダンスなどに、みんなで取り組んでいます。

全校生で取り組むからこそ、競技や運動の楽しさを味わえます。また、3年生が1・2年生を導く姿は頼もしいです。教えることで多くの力がついていくと思います。1・2年生は、3年生の姿から多くのことを学んでいます。自分から主体的に学ぶ力が身についています。

1・2年生は「来年は自分たちが後輩に教える」という意欲もできています。先輩・後輩と、すてきな関係の子どもたちです。

ナッジワークショップで環境学習

「環境にやさしいスイッチはこれだ!」「水とか暖房とかの節約だよ」と「ナッジ理論」に基づく環境教育を12月21日に行いました。ナッジワーク講師の方に、東京よりおいでいただきました。みんなで意見を出し合い、考え議論する姿は頼もしかったです。講師の先生方、ありがとうございました。

「ナッジ理論」とは、「足跡のシールを貼っておくと、自然と足跡に合わせて歩いてしまう」ように、無意識に行動をさせてしまう工夫の事です。



【節水を呼びかける掲示をしました】

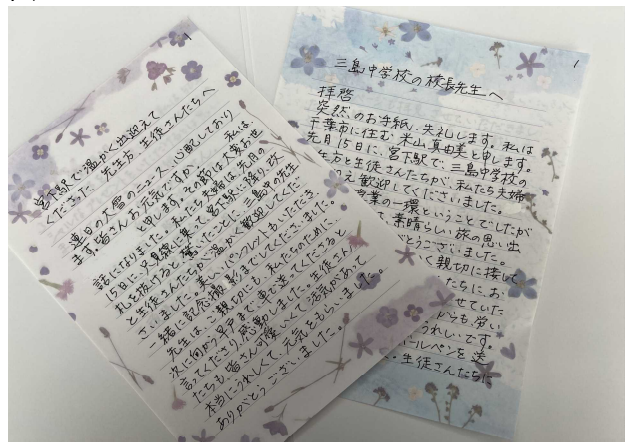


【異学年縦割りの班で考えました】

年末に届いたふるさと学習での感動エピソード

12月26日に、素敵な手紙とプレゼントが学校に届きました。「私たち夫婦が宮下駅で降りた際、生徒さんたちが、温かく歓迎してくださいました。美しいパンフレットもいただきました。記念撮影までしてくださいました。可愛くて活気があって、元気をもらいました。こんなプレゼントをいただけるとは思いませんでした。三島町を愛する立派な若者がおられることは心強く胸が熱くなりました」

これは、地域課題探究学習(11月15日実施)で、子どもたちが町の課題を考え、町のPR活動を行った時のことです。この「出会い」「人とのつながり」で、三島っ子たちは成長すると感じました。



授業参観・臨時PTA総会

大雪の12月15日に授業参観・臨時PTA総会で、保護者のみなさまにご来校いただき感謝いたします。それぞれの授業で、交流を通して考えを深める子どもたちの姿はいかがでしたでしょうか。また、臨時PTA総会では、規約改正にご理解をいただきありがとうございました。

全校生で取り組んだ人権作文

第41回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会に、全校生で人権作文を出品しました。中学生の人権意識の高揚に取り組んだことに感謝状をいただきました。内容とともに、全校生で取り組んだことが評価されたのだと思います。

【校長の一言】ホームページ、定期的に更新中です。現在75,900閲覧(7月号発行時66,175閲覧)、6ヶ月間で9,700閲覧でした。記事への多数の「いいね!」もありがとうございます。